

平成 23 年 3 月 29 日

被災地における急性期医療に従事する病院の皆様へ
(医療連携ご担当者様)

日本慢性期医療協会災害対策本部
本部長 武久洋三
副本部長 富家隆樹
事務局長 池端幸彦

重度慢性期患者ならびに要介護度の高い患者の受け入れに関する支援について

東北地方太平洋沖地震で被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

貴院におきましては、今回の大震災により、救急医療はもとより、あらゆる状態の患者に総力を挙げてご対応されていることと存じます。そのご苦労は大変なものであるとお察ししております。

当日本慢性期医療協会も岩手県、宮城県、福島県に 22 の会員病院があり、10 トン積みトラックで 3 回にわたり支援物資を輸送致しました。しかし、被災の程度は重大で、東北地方の慢性期医療を担う被災病院は十分な医療を提供できない状態にもあります。

当協会も厚生労働省からも被災患者の受け入れについての要請を受けているところでございます。一方、被災地方の急性期病院の皆様におかれましては、患者の急増や資材・人材の不足等、大変な状況にあるのではないかと仄聞しております。貴院にて一旦治療を終えたものの、その後のリハビリや回復期・慢性期の医療の必要な患者の今後の転院先について苦慮されていることと存じます。

日本慢性期医療協会では、関東地区の当会会員施設において受け入れの調整をさせていただいております。重度慢性期医療を必要とする患者(人工呼吸器管理・気管切開・胃瘻・重度認知症・人工透析等) または要介護度の高い患者を、慢性期医療病院・施設でお受けいたしております。それにより、貴院のベッドを高度急性期医療を必要とする患者のために空けていただければ幸いです。このような時こそ、まさに医療界の連携が必要です。これからの医療の復興とよりよい医療の実現のために、医療人として共に地域を支えてまいりたいと思います。

当会会員施設での受け入れ人数の状況は、下記のホームページにも掲載しておりますので、ご参照ください。ご要望やご質問は当日本慢性期医療協会の事務局にて伺っておりますので、ご遠慮なくご相談いただければ、貴院担当者と調整のうえコーディネーター的役割を果たさせていただきます。

日本慢性期医療協会災害対策本部 <http://jamcf.jp/saigaitaisakuhonbu.html>

日本慢性期医療協会 災害対策本部

Tel. 03 - 3355 - 3120、(携) 090-3240-3120 E-mail: info@jamcf.jp

* 移送の方法等についてもご相談させていただきます。

(送信枚数計 2 枚)